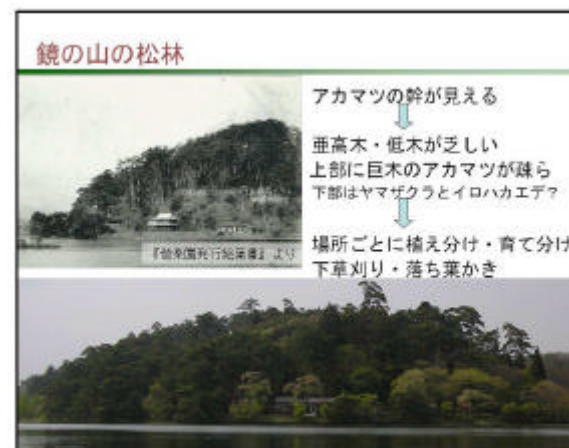
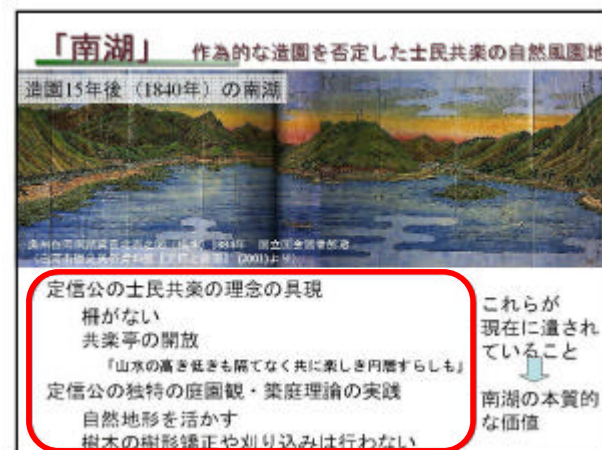


## 【南湖の巨樹・銘木とその保全】

(福島大学共生システム理工学類 黒澤准教授)

### 松平定信公の庭園観



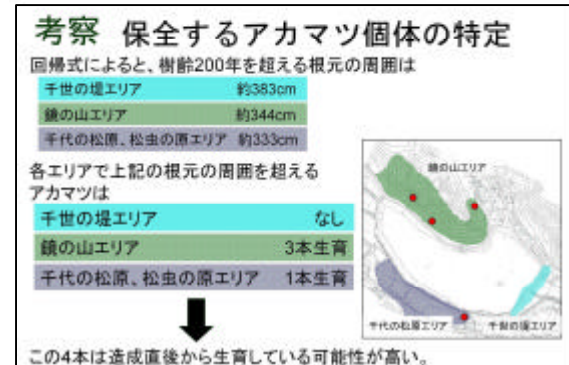
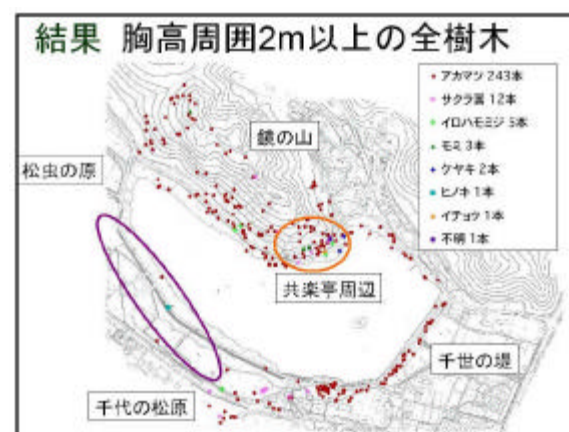
### 南湖の巨木調査

〔調査目的〕

現状の把握
保全すべき樹木の特定
造成時からの樹木の変遷を推定
南湖周辺の巨木の位置、サイズの記録
南湖周辺の切り株・倒木の樹齢を計測
過去の資料から樹木に関する情報収集

〔まとめ〕

- ・ 胸高周囲2m以上の樹木268本の樹種、胸高周囲、根元の周囲、樹高、生育位置を記録。
- ・ 保全すべき造成時から生育している可能性のあるアカマツ4本を特定。
- ・ 南湖周辺の樹木は年代によって、樹種構成が大きく変化している。



## 【南湖の樹木・森林植生の管理と保全策】

(福島大学共生システム理工学類 黒澤准教授)

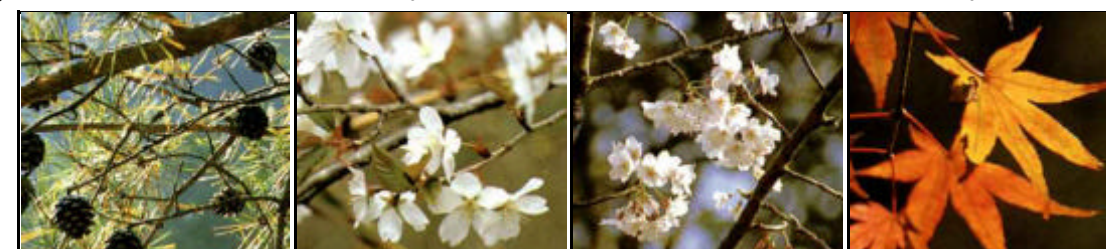
### 鏡の山の管理計画の策定に考慮に入れるべきこと

- ・ 南湖を造った松平定信公の庭園観
- ・ 南湖の本質的な価値
- ・ 現在の利用状況
- ・ 管理にかかるコストや労力
- ・ 地元の希望・要望
- ・ 生物多様性や景観の保全

### 鏡の山の管理に関する提言

〔造成時に植栽または自生していた可能性のある古木の最優先の保全〕

(1) 最優先で保全する古木の特定。樹種は恐らく合計十数本程度に限られる。



アカマツ(松) ヤマザクラ(桜) エドヒガン(桜) イロハモミジ(楓)

(2) 樹木医等専門家による定期的な診断、治療。

(3) 維持管理。想定されることとして、

古木に悪影響を与えている樹木の伐採、剪定。

(アカマツの場合)周辺の草刈りや落ち葉かき。

周辺に立ち入り禁止エリアを設けて踏みつけ等の軽減。

〔計画的な下草刈りと落ち葉かきによる林床植生の管理〕

(1) 比較的細かな区分けをし、それぞれ目標とする林床環境・林床植生を定める。

(2) 目標とする林床環境・林床植生ごとに、計画的な管理方法を定める。

(3) モニタリング(調査や観察)をしながら順応的に管理方法を見直す。

〔樹木植栽のガイドラインの作成〕

(1) ガイドラインやコンセンサスがなかったため、近年の植樹は、必ずしも松平定信公の庭園観に合う樹種や、植樹方法だったわけではないようである。

## ワークショップにおける質問などをまとめてみました。

### 質問

- Q1 千世の堤のアカマツが枯れてしまっている箇所があるが、補植はどのように行うのが良いか。
- Q2 アカマツ枯れの今後の対策は。

### 黒澤准教授の回答

- A1 千世の堤は並木風にしていたようなので、並木風に植えた方が良いと思う。植える際は、定信公の庭園観に合うような樹種にした方が良い。
- A2 噴霧器により薬剤を散布し、羽化脱出したマツノマダラカミキリの成虫を駆除することで被害のまん延を防止。また、弱っている松を減らすことも大事。

皆さまの貴重なご意見やご要望は、今後の南湖公園の保全・利活用に活かしていきます。